

「研修会等名称」

平成 19 年度 全国大学 IT 活用教育方法研究発表会

場所：東京都九段北 私学会館 5F

期間：2007 年 7 月 7 日

1. 研修の内容

B 会場（語学系）の研修に参加させていただきました。

日本大学 郭海燕氏の「初心者が学習しやすい中国語コンテンツ」という発表では、e-learning 中国語教材の作成（方針、構成、特徴、内容）と応用（授業中、授業外、中国語検定試験受験者への対応）のこと。

慶應義塾大学 中山純氏・鈴木直樹氏の「ポータルサイトを利用した外国語授業の改善」では、教室で web 上にポータルサイトを設け、外国語学習に関する情報を集約して活用していること。

千葉大学、文京学院大学、大阪大学共同開発（代表 土肥充氏）の「三ラウンド・システムの CALL 教材作成支援システムの開発と評価」では、動画、静止画、音声、テキストからなるマルチメディア情報を「部品」として、各部品を自動的に統合して適切なタイミングで提示する教材を作成することを紹介、その効果を説明、今後の課題を提出したこと。

東京農工大学 加藤由香里氏（代表）の「専門教育との連携を志向する e-learning の開発」では、学習者に応じた柔軟な学習環境、教授私見の共有化などの点は非常に印象的でした。

## 2. 研修の成果

本学に赴任して以来、1年生の基礎中国語教育をも、2年生の実践中心の表現力を高める授業をも、又、3年生の専門的な講義をも担当させていただきました。どの授業にもいかに学生の勉強意欲を高めさせるか、いかに興味深く勉強してもらうか、いかに課外の勉強（予習復習を含めて）をもっとしてもらうか、などの問題があって、ずっと考えてきました。教師が一方的に教えるだけでは解決できないことですが、有効に IT 活用教育方法を利用すれば、かなり改善できるだろうと、今回の研修を通して認識するようになりました。

## 3. 授業への研修成果の反映状況

e-learning の開発・応用は必要だと思えます。これは、だれか一人での力では難しいと思えます。中国語教育運営委員会の一課題として、検討していただきたく思えます。

IT 活用教育は待つものではなく、他大学の研究成果を借用するか、あるいは参考にして適用できるようにがんばることは、一人ひとりの教員がすぐにもしなければならぬことです。私もがんばります。

学部長	FD委員長	FD委員会	総合企画課長	係